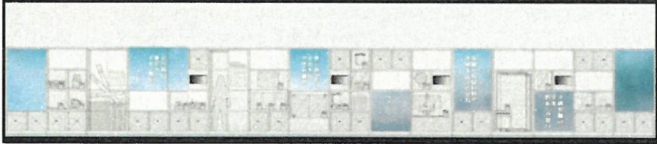
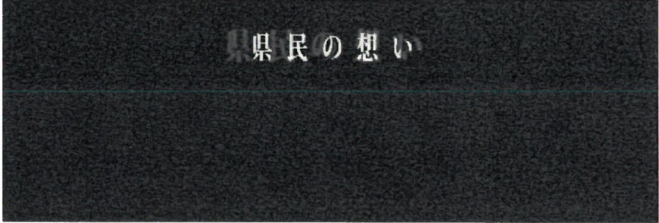



「県民の想い」全体演出 オフライン

2 証言コラージュ (30秒)

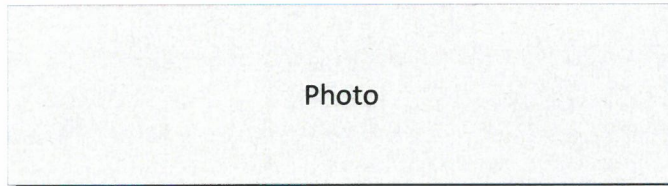
	イメージ	テロップ	コメント
通常モード			
暗転	0 1 	<タイトル> 県民の想い	証言01 涙流れるって言うかなんていうか、言葉にならないような状況だった 証言02 頑張って頑張って建てた家だったんだけど、あーあ 証言03 壁やガラスが割れながら崩れ落ちるのを呆然と眺めてる 証言04 もう、頑張って生きていくしかないので
県民の姿	0 2 		ナレーション 東日本大震災と原子力災害。この困難に向き合ってきた福島県民の想い、それは物に宿り、言葉になって現れます。

3 4つのテーマ	イメージ	テロップ	コメント
----------	------	------	------

3-1 災害時に感じた不安・恐れ

「災害時に感じた不安・恐れ」コーナーにスポットがあたり、スクリーンに証言者、そして関連映像が映し出される。

0
3



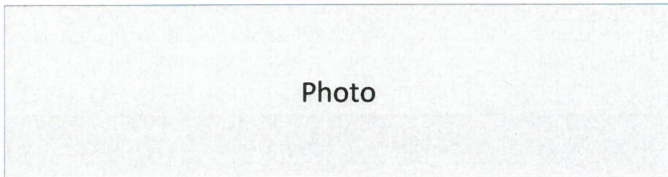
Photo

タイトル
「災害時に感じた不安・恐れ」

傾く家
うねる道路

証言05 うちがゆれて、斜めになって倒れるのかなってなって
証言06 道路がうねってるんですね、波打って

0
4



Photo

津波
家が流された

証言07 うちのお父さんが、津波だー、津波だーって大騒ぎして。いな子ちゃんの家流されたーって

0
5

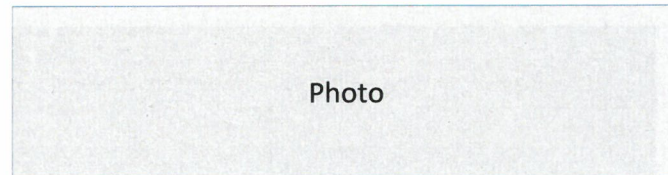


Photo

まさか
原発が
水素爆発

証言08 子どもの頃から、安全だ安全だと言われてきた原子力が、まさかこんな形で……
証言09 まさか原発が水素爆発するとは誰も思っていなかったし

0
6



Photo

○○○○○○
○○○○○○
原発20km圏内での遺体捜索は1か月以上も後だった
やっと捜索に行ける

○○○○ やっと、捜索に行けるということで、すごくうれしいというか、家族の元に戻してあげたい、見つけてあげたいというのは強く思っていましたね。

3-2 楽しかった学校生活との突然の別れ

「楽しかった学校生活・突然の別れ」コーナーにスポットがあたる。

0
7

Photo

8

Photo

0
9

Photo

1
0

Photo

タイトル
「楽しかった学校生活・
突然の別れ」

○○
○○○○○○○○
○○○○○○○

請戸小学校を残したい

○○
○○○○○○○
○○○○○○○

避難生活

○○○○○○○○○○
○○○○○

被災を体験し 優しく
なった子どもたち

せめてもの救い

○○○ 私が震災の日にはいた場所がこの、6年教室です。

○○○ 津波で色んなものがなくなって、その上に原発事故がかさなって人が入れなくなって、という状況の中で、本当に請戸小学校だけが、震災前の形のまま残っている場所なので、私は、請戸小を見て、やって請戸に帰ってきたな、って思えます。

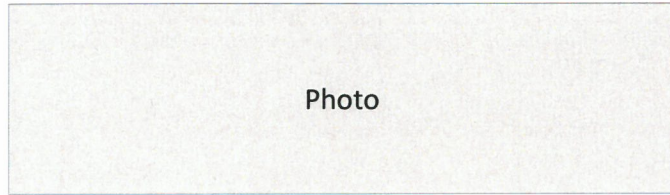
○○○ やっばりどんどん、原発事故、水素爆発も含めて最悪の状態になっていく中で、すぐ帰れるのかなあと思っていたものが……普通だったら学校も始まる中で、自分はまだ避難生活をして……

○○○ 今だから言えることではあるんですが、あの事故がきっかけになって人生が大分変わってきた、それも結構良い方に変った子どもが多いのかなと思いますね。優しくなりましたね、子どもたちがね。それがせめてもの救いだっと思います。

3-3 家族との思い出や地域生活との別れ

「家族との思い出や地域生活との別れ」コーナーにスポット

1
1



タイトル
「家族との思い出や地域生活との別れ」

1
2



県内県外に散っちゃって

証言10 地域の人たちが、県内、県外に散ってしまっ

守ってくれた人達との別れ

証言11 ずっと守ってくれた人たちと別れなければいけないのがつらかった

一切無くなる

証言12 先祖が残してくれた、土地、家屋が一切なくなってしまうわけですから

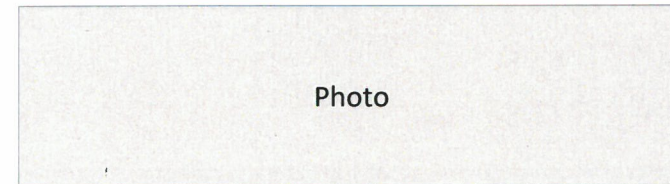
1
3



イノシシが家をめちゃめちゃに

〇〇〇 ガラスが割れたところからイノシシが入るようになって、そのイノシシが家の中をめちゃめちゃにしちゃうという感じで、もう、解体って感じになるよね

1
4



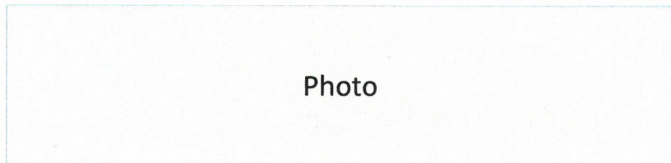
請戸の踊りを守りたい

〇〇〇 最初は、友達に会えるとかそういうことが踊りをやっていく一番の理由だったんですが、そこから請戸の踊りを守っていくのが大事なんだって気づいて、そこからは請戸を伝えるため、という気持ちでやっています。

3-4 生活基盤の変化・将来への想い

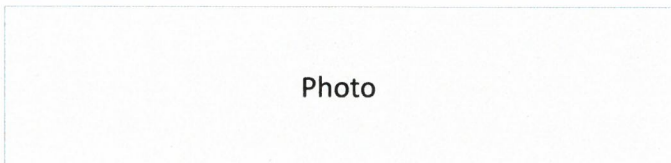
「生活基盤の変化・将来への想い」コーナーにスポット

1
5



タイトル
「生活基盤の変化・将来への想い」

1
6



原発
原発事故がなければ
収穫できない
一歩ずつ行動するしかない

証言13 原発事故がなければ、まだ様子は違ったんだけど、とも思うけれど、それを考えるとまた後ろ向きになってしまっ

証言14 畑の草とか手入れしてたんだけど、収穫できない状況だった。

証言15 止まってもどうしようもないんで、一歩一歩づつでも行動していくしかない。

4 エンディング (15秒)

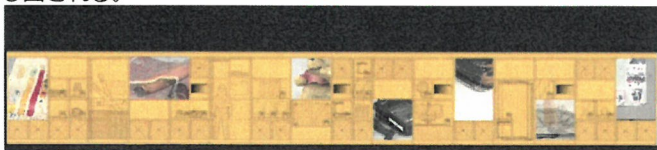
イメージ

テロップ

ナレーション

展示ケースに明かりがとまり、スクリーンには資料のアップ映像が映し出される。

1
7



ナレーション
ここにある資料は、福島が経験した未曾有の体験を、永遠に忘れることがないように、集められました。資料が物語る、災害の記憶と教訓に向き合ってみてください。

<約5分>

1
8



